

# 富士河口湖古の小径

## 『勝山記』について(一)

『勝山記』は、富士御室浅間神社が所蔵する古い記録であり、わが国の中世史研究の資料として古くから注目されている典籍である。和装袋綴りで、縦十三・七センチ、横十八・六センチ。中央には「勝山記」と書名を記した表紙が付されている。文化十一(一一八四)年編集を終えた『甲斐国志』の引書目録にも、勝山記二巻(年号の暦応以前を一巻、以降を一巻)として記されている。しかし、以後これが通称されたとは必ずしもいえず、明治二十二(一八八九)年の文科大学(現東京大学文学部)教授星野恒氏らによる史料採集の際には『北室神主日記』として影写がなされ、大正八(一九一九)年、武田神社の創建を機に開かれた「機山公記念展覧会」には「勝山日記」の名で出版されている。

この記録の原本は、今現在も見つ



かつておらず、写本だけが伝わっている。その写本には、「勝山記」と「妙法寺記」と呼ばれる二つの



系統があり、両者の間には内容に若干の相違が見られ、そのいずれが原本に近いかをめぐって、その書き手をも含め、学界では学問的論争が続いている。その呼称も両者とも文化・文政年間(十九世紀前半)それぞれが世に出される過程で便宜的に与えられたものとされ、書き手も本来は一人の手にならざるものではなく、何代かの書き継ぎによるものであり、しかも何度か再編集されたものであるという点では研究者の間で意見の一致をみている。

書き手をめぐっては、従来富士御室浅間神社の内庵浄蓮寺の住僧が書き継いだとする説と、妙法寺の住僧が書き継いだとする説があったが、近年では山梨県史編纂室の調査等により新たな史料の発見があり、常在寺の衆中により書き継がれたという説が有力である。

『勝山記』は、戦国期の富士北麓に生きた先人たちの姿を生きたきと描いた記録であり、戦国時代の在地史料としての重要性は早くから注目され、とりわけその社会経済史的価値は極めて高いものである。現存のこの『勝山記』は、慶長期(一五九六〜一六一五年)頃に原本を書写したものと推定され、貴重な記載内容とともに、その文化的価値を高く評価され、昭和五十年三月十七日に山梨県の文化財指定を受けている。

なお、旧勝山村では村史編纂事業の一環として『勝山記』(勝山村史別冊)を既に公刊しており、それは上段に写真撮影した原書を置き、下段に原書の記述に対応した活字の読み下しを添えている。作業は勝山村史編纂委員会の委員を中心に、柴辻俊六博士(元早稲田大学図書館)、流石奉氏らが当たられ、詳細な解説を加えている。長い間「門外不出」とされていた貴重な文献ゆえ、ぜひ一読をされたい。

次号では、今も下吉田の小屋浅間神社で行われている筒粥神事などの描写が載る『勝山記』の中に見られる記述を、具体的にみていきたい。

富士河口湖町文化財審議会

## おめでた・おくやみ

【2月24日から3月19日まで】

### おめでた(出生)

お子さん 父 母

三浦 美来	洋一	奈保	船津
太田原実空	弘幸	美保	船津
梶原 碧人	賢	里絵	船津
渡邊 美羽	司	由紀子	船津
堀内美乃里	建一	信子	船津
加々美大和	英機	智子	船津
小野 綺芽	良蔵	香織	船津
高野 希伊	一朗	薫	船津
渡邊光太郎	一仁	友美	船津
末吉 紺乃	達弘	京子	船津
芹澤 奈恵	正文	宏美	船津
白壁 美伶	賢司	奈津子	船津
村松 佑星	悟	朗	小立
渡辺 波琉	博文	貴子	小立
渡邊 瑚雪	賢二	真理	小立
堀池 星那	一紀	静子	小立
石井 聖	好之	昌子	大石
鎌倉 有佐	宗利	清子	大石
外川 海里	貴範	有紀	河口
渡邊 悠介	剛志	美春	河口
友谷 佳蓮	保文	由美子	河口
小佐野愛海	和	直子	勝山
流石柊之介	真也	亜紀	勝山
亀田 陽平	貴弘	広美	長浜

### おくやみ(死亡)

日 Sun.	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.	土 Sat.
4	5 母子手帳交付 献血 (町役場)	6 町内小中学校 入学式	7 集団予防接種 (ツベルクリン反応)	8	9 集団予防接種 (BCG)	10 サンアイデー
11	12 母子手帳交付	13 犬登録と狂犬病 予防注射 (大石)	14	15 犬登録と狂犬病 予防注射 (小立)	16 犬登録と狂犬病 予防注射 (足和田) 赤ちゃん広場	17
18 河口湖・西湖 クリーンアップ キャンペーン	19 母子手帳交付	20 行政相談・ 心配ごと相談 犬登録と狂犬病 予防注射 (河口)	21 犬登録と狂犬病 予防注射 (勝山)	22	23 犬登録と狂犬病 予防注射 (役場)	24
25	26 母子手帳交付	27	28 富士桜 ミツバツツジ祭り (~ 5月4日)	29 町民皆歩の日 勝山流鏑馬祭り	30	5/1
2 船津小創立記念日	3 憲法記念日	4 国民の休日	5 子どもの日	6	7 集団予防接種 (バリオ投与)	8 サンアイデー

休日・夜間の救急医の問い合わせ先 23 - 4444 (富士五湖消防本部テレフォンサービス)  
平日 17:00 ~、土曜日 12:00 ~、日曜・祝祭日 8:00 ~

広報富士河口湖

**国民年金・社会保険 相談所**

日時 5月11日(火)  
午前9時30分から午後4時

場所 河口湖商工会  
山梨社会保険事務局大月事務所  
0554223811

**人のうごき**

3月1日現在 (内は前月比)

人口	23,760人 (+1)
男	11,625人 (+3)
女	12,135人 (-2)
世帯	7,617戸 (+15)



**富士河口湖に「足湯」がオープン**

河口・麗峰の湯(渡辺尚史さん)では、町民の皆さんのみならず観光客の皆さんに、休養と保養、療育を目的に温泉を一般開放していますが、温泉維持管理の協力金として500円(温泉施設の外脇に、「足湯」を設置しました。誰でも無料で、気軽に利用して下さいとのことです。

**【訂正とお詫び】**

3月号22ページ、おめでた(出生)で氏名に誤りがありました。お詫びと訂正をさせていただきます。

(誤) 渡邊凜華	(正) 渡邊華
(誤) 関井駒	(正) 関井凜駒

**おしあわせに(結婚)**

新田 雄将	高島 由佳	船津
井出 新二	渡邊 輝美	船津
黍田 洋	秋田 千裕	船津
小佐野 一丸	鈴木 理恵	河口
倉澤 英	濟藤 幸子	勝山
大石かな子	94歳	大石 章二
今井 一	53歳	今井 一子
倉澤不二枝	88歳	倉澤 直樹
高橋喜代夫	76歳	菊池 佳子
松丸ヒサ子	79歳	渡邊みどり
篠原 良雄	70歳	篠原喜美子
天野 國久	96歳	天野 昭弘
堀内 龍男	87歳	堀内 和子
程原ます子	80歳	程原 貞二
山中 峯雄	95歳	山中 一
渡邊 まつ	92歳	渡邊 学
渡邊 久平	78歳	渡邊 直登
渡邊 民男	69歳	渡邊 次子
関 松夫	66歳	関 つね子
梶原 一雄	78歳	梶原ふさ江
井出かつよ	93歳	井出 久子
外川 金	77歳	外川 梅子

届出人

新庁舎・町民ギャラリー

## アートフラワー展

展示者

山口千鶴子さん



展示期間

4月12日(月)～23日(金)

創花デザイナー・山口千鶴子さん(船津在住)のアートフラワー作品展を4月12日(月)から23日(金)まで行ないます。

展示時間は期間中の平日、午前8時30分～午後5時15分まで。



2月の広報誌でお知らせしましたが、町役場では、新庁舎のスペースを町民の皆さん方の文化活動などに活用していただき、様々な活動の拠点としても使用されるよう考えています。

3月の「柳田ふみ代」さんの昼休みミニコンサートに続き、町民ギャラリーでは初めての展示会です。新庁舎のエントランスホールを使つてのコンサートや町民ギャラリーでの展示を希望される方は、遠慮なく申し出て下さい。

## フリーマーケット 希望者募集!

町では新庁舎の町民活用の中で、駐車場の広いスペースを使つてのフリーマーケットなども考えられると思っています。

そこで、フリーマーケットをやりたい方々に集まつていただき、運営方法等を話し合つていきたいと思っています。

つきましては、フリーマーケット希望者は、4月23日(金)までに企画課(721129)へ連絡下さい。

また、フリーマーケット以外でも、駐車場スペースの活用について、ご提案やご意見等がありましたら、連絡下さい。

連絡先 町役場企画課

(72 1129)

### 新庁舎エントランスホールコンサート

#### 「歌の宅配便」

柳田ふみ代さん  
シャンソンコンサート

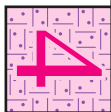
3月の広報でお知らせしました新庁舎でのミニコンサート「柳田ふみ代」シャンソンコンサートが、3月24日行なわれました。

昼休みの新庁舎には、大勢の町民の皆さんに来ていただき、柳田さんのシャンソンの歌声に酔いしれていました。  
また、柳田さんの歌を議会でも聞きたいという事で、議場でも披露していただきました。



ホームページアドレス <http://www.town.fujikawaguchiko.yamanashi.jp/>  
Eメールアドレス [kikaku@town.fujikawaguchiko.yamanashi.jp](mailto:kikaku@town.fujikawaguchiko.yamanashi.jp)

2004年 4月 No.5 広報富士河口湖  
発行/山梨県南都留郡富士河口湖町役場  
編集/富士河口湖町役場 企画課  
〒401-0392 TEL 0555-72-1129



「広報富士河口湖」は資源保護とリサイクル促進のため再生紙を使用しています。

ISO 14001 認証取得  
地球環境にやさしい町づくりを進めています。

